

# 平成23米穀年度における北海道米の道内食率（暫定値）について

平成24年1月27日  
北海道農政部

平成23米穀年度(22年11月～23年10月：主に22年産米)における北海道米の道内食率（道内の米消費量に占める北海道米の割合）を次のとおり算出したので、お知らせします。

記

**平成23米穀年度の北海道米の道内食率（暫定値） = 82%**  
**（前年度より4ポイント向上：過去最高を更新）**

※ 算出方法については次項参照

## 1 道内食率が82%となった主な理由

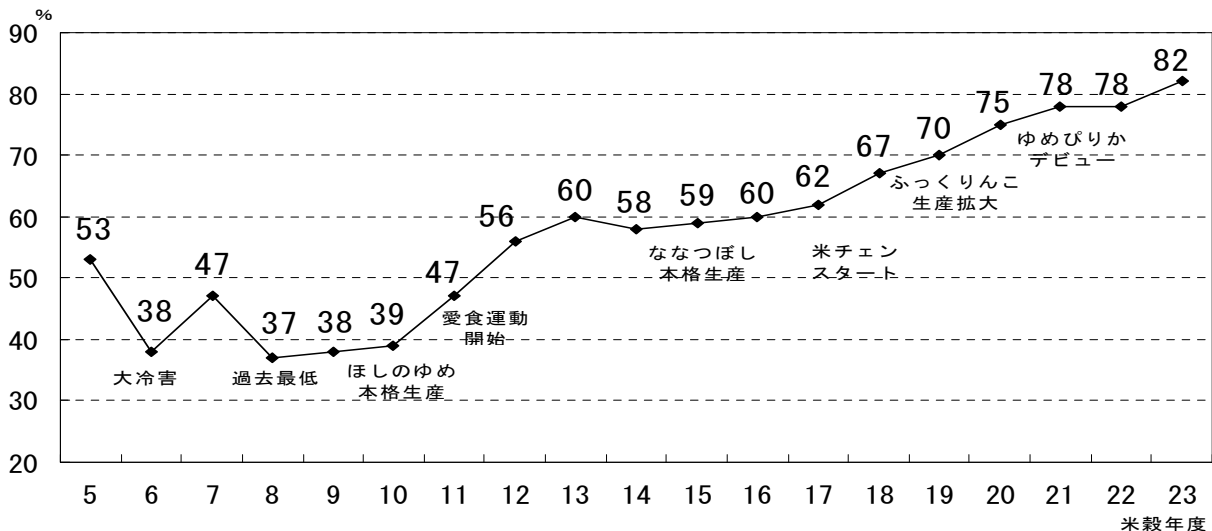
- ① 22年産の北海道米は、生産者や関係者の御努力により、高温等による影響が懸念された中で、作況指数「98」を確保するとともに、財団法人日本穀物検定協会による食味ランキングで、「ななつぼし」と「ゆめぴりか」が最高ランクの「特A」を獲得するなど、良食味となったこと
- ② 本格販売2年目の「ゆめぴりか」のおいしさが、道内の消費者の皆様に広く浸透したこと
- ③ 農業・経済団体、行政が一体となった北海道米食率向上への取組により、北海道米に対する評価・支持が定着してきたこと

## 2 今後の取組

北海道米の道内食率のさらなる向上に向けて、引き続き、関係機関・団体と緊密に連携し、主に次の項目に取り組む。

- ① 食味や品質の一層の向上と多様なニーズに対応した生産体制の強化
- ② 基幹品種に加え、「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「おぼろづき」といった、高品質で美味しい北海道米ブランドを一層、浸透・定着させるため、PR活動と販売促進を展開

## 3 北海道米の道内食率の推移



## [道内水稻作況指数の推移]

年産	H 5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
指数	40	108	103	101	102	105	103	103	100	91	73	98	109	105	98	106	89	98	105

#### 4 算出方法

平成23年11月に道内主要米穀卸売業者へ依頼した「卸売業者における府県産うるち米の販売数量調査」の集計結果をもとに、23米穀年度(RY)の北海道米の道内食率を推計。

##### (1) 基本的考え方

$$\begin{aligned} \text{北海道米の道内食率} &= \frac{\text{北海道米消費量}}{\text{北海道内米総消費量}} \times 100 \\ &= \frac{\text{北海道内米総消費量} - \text{府県産米消費量}}{\text{北海道内米総消費量}} \times 100 \end{aligned}$$

##### (2) 算出の基礎

①北海道内米総消費量 = 道内総人口 × 1人1年当たり消費量の合計

○ 道内総人口 …道総合政策部「住民基本台帳人口」(平成22年12月、23年3月、6月、9月各月末の台帳を単純平均したもの)

○ 1人1年当たり米消費量 …「食料需給表」(農林水産省)の「米の1人当たり供給・1年当たり数量(菓子及び穀粉を除く)」に推計を加えたもの  
 具体的には、食料需給表の平成22年度数量及び7年度~22年度結果から推計した数量をもとに、平成22年11月~23年10月の月別消費量を算出し、その合計を玄米換算したもの

注：1人1年当たり消費量は、農林水産省「食料需給表」を基に推計しているが、本調査結果が一部未確定のため、暫定的な数値である。

②府県産米消費量 = 道農産振興課「卸売業者における主食用うるち米の販売数量調査」(平成22年11月~23年10月の府県産米販売数量)

##### (3) 推計結果

$$\begin{aligned} 23RY \text{北海道米の道内食率} &= \frac{342,471 - 61,665}{342,471} (\text{玄米 t}) \times 100 \\ &= \frac{280,806}{342,471} (\text{玄米 t}) \times 100 = \mathbf{82\%} \end{aligned}$$

##### (4) 基礎データ

項目	23RY
北海道内米総消費量 (玄米t)	342,471
道内総人口 (人)	5,505,245
1人1年当たり米消費量 (玄米kg)	62.208
北海道米消費量 (玄米t)	280,806
府県産米消費量(道内主要卸売業者) (玄米t)	61,665

担当：農政部食の安全推進局  
 農産振興課水田グループ  
 (黒崎、松橋)  
 連絡先：011-231-4111 (内線27-724)  
 [直通] 011-204-5435